

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月17日更新

事務事業名		新市建設計画変更事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	政策部
	施策	25	行政改革の推進		所属課	企画課
	施策の柱	84	計画的な施策・事業の推進		所属班	企画広報班
課長名						大茂 竜二
担当者名						牧野 淳一
成果優先度評価結果						(内線) 1252
予算科目	会計一般	款	項	目	事業連番	根拠法令
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	
合併特例法 成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :						

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成23年3月11日の東日本大震災の発生を受け、平成24年6月27日に「東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律(平成24年法律第36号)」が施行され、東日本大震災の発生後における合併市町村の実情に鑑み、合併市町村が市町村建設計画に基づいて行う公共的施設の整備事業等に要する経費に充てる地方債(合併特例債)を発行できる期間が延長可能となったため、「新市建設計画」の計画期間の5年間延長及び事業の内容、名称等の時点修正を行う。
【業務の流れ】	①内容の庁内検討 ②新市建設計画の変更案作成 ③政策推進本部会議での検討 ④県知事に内協議 ⑤県からの意見に基づく修正等 ⑥総合政策審議会に諮問 ⑦県知事との正式協議 ⑧県知事から正式回答 ⑨議会上程 ⑩総務大臣及び県知事へ計画送付
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】	市長から、当初計画にあった県事業のうち、現時点でなくなった事業について、県に対し代替えとなる事業の提案を求めよう指示されている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	新市建設計画の変更内容を庁内で検討し、変更案の作成を行った。その後、政策本部会議にて最終調整し、県知事に内協議を行った。県知事からの回答を基に庁内で検討し、政策推進本部会議にて最終確認後、総合政策審議会へ諮問した。その後、議会へ上程し、決議後、総務大臣及び県知事へ計画を送付した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 変更終了のためこの事業は廃止となる。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア: 新市建設計画の変更	なし	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
新市建設計画	→ ア: 変更する新市建設計画	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
内容の時点修正を行う	→ ア: 変更した新市建設計画	
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア									
② 対象指標	ア									
③ 成果指標	ア									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	(A) 事業費計	千円			0	0			
		(A)のうち指定経費	千円			0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0			
		正規職員従事人数	人			0	1			
		延べ業務時間	時間			0	300			
(B) 人件費計	千円			0	1,113					
トータルコスト(A)+(B)	千円			0	1,113					

事務事業名	新市建設計画変更事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 年度内の変更を終えたことで目標は達成した。
	②28年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 新市建設計画の変更は終わったので今年度で事業は廃止となる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 新市建設計画の変更は終わったので今年度で事業は廃止となる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 計新市建設計画の変更事業であるため統廃合・連携の余地はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 元々予算措置のない事業であるため削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人配置であるため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 合併特例債の発行期間の変更であり、合併特例債の活用は市全体に関わることであり、ため適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 この事業は、計画変更事業であるため行政が行うべきものであるため適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

新市建設計画の変更にあたっては、庁内で変更内容の検討をし、また、市民代表である総合政策審議会にも意見を聞き、更には、県の各部署とも連携を図りながら内容の検討を行った。最終的に政策推進本部会議、議会を経て計画を策定した。変更した計画は、国、県にも提出を終えており、本事業としては、無事に終了と評価している。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>計画の変更を終えたためこの事業は廃止となる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						